

市民の皆さんにお知らせします

平成24年西条市議会第6回「12月定例会」以降の西条市政の動向は次のとおりです。

平成25年1月9日

12月定例会最終日に議員提出議案第1号「西条市長青野 勝君に対する不信任決議について」を原案可決

平成25年1月17日

地方自治法第178条第1項の規定に基づき、西条市長が西条市議会を解散

平成25年1月19日

西条市選挙管理委員会が開催され、西条市議会議員選挙期日を「2月17日告示・2月24日投票」に決定

キャッチボール vol.001 第一球



市民の皆さんに、市長の思いを直接お伝えするため、コラム「キャッチボール」の掲載を今月から開始します。



昨年11月に西条市の舵取り役を仰せつかりました青野勝です。

私の願いは、「安全で安心な西条市を創ること」「市民の皆さんの心がひとつになってくれること」です。そして、これからの目標は『和・輪・話・笑』です。和して、輪になって、話して、笑い合える西条市づくりです。市民目線に立ち、謙虚な気持ちで、全力投球してまいります。どうかよろしく願いいたします。

私はこれから市民の皆さん一人一人にボールを投げていきます。そのボールには「私の思い」や「これからの西条市をどう進めようとするのか」などを書いていきます。皆さんにそのボールをしっかりと受け止めていただき、返事を書いて投げ返していただければと思います。

「もっと福祉に力を入れてほしい」「別の方法が良いのではないか」とか「市長しっかりして」などお叱りもいただければありがたいと思います。

さてキャッチボールの第一球は、「市役所新館建設と市議会不信任決議について」です。

私は選挙戦で新館建設を取り上げ、民主的な市政への転換を訴えました。訴えた通り、必ず、明るく開かれた市政を実現していきます。市長に就任してすぐに私は、進められていた新館建設工事を一度中断し、関係者から状況を聞きました。その結果、工事が予想以上に進んでおり、中止するには出来高や賠償補償金も想像以上に必要であることを知りました。また、新館に付帯する消防救急デジタル無線等の機能整備の遅れや、各省庁からの補助金の放棄などを考慮すれば、懸念される大地震などへの危機管理対策や財政面からのリスクが極めて大きいこともわかりました。選挙で二分された結果をふまえて、旧西条地区の皆さんに安心していただきたいとも思いました。

本来は、先に住民の皆さんに丁寧に説明し、ご意見をお聞きすべきところですが、しかし工事中断期間が長くなればなるほど、時間の経過とともにさらにリスクが大きくなるばかりです。ここは一刻も早く決断することが必要と判断し、最終的には12月定例会の前日、昨年12月10日に議長とも合意の上、新館建設工事を再開しました。

しかし、ご存知のように1月9日の市議会最終日に、新館建設の工事再開に関し、議会に対して事前に何も説明がなかった、議会軽視である等との理由で、私に対する不信任決議案が提案され、可決されました。市長就任から43日目のことです。

この不信任決議に対し、私は1月17日に市議会を解散しました。開かれた市政、民主的な市政をつくる、市民の皆さんの力を結集して、より良い西条をつくりたい。それが私の願いです。

新館建設の継続は決して回避策ではありません。東予総合支所や丹原総合支所の耐震化、小松総合支所の改修を進め、併せて職員配置や公民館の活用などによって、全域の住民サービスを維持し、危機管理体制の強化を図っていけるものと考えているところです。今後の市政運営については、しっかりと議論してまいります。

このキャッチボール第一球が届く頃には、住民説明会も開かれていることと思いますが、様々な機会を捉えて、市役所の体制はもとより、これからの西条市についてのご意見やご提言をいただきますことを心よりお願いいたします。